令和3年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	し尿処理事務に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	4	2	3	
政策	快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	クリーン推進課			
施策	環境衛生の充実	担当課室長	中川　聡			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	合併浄化槽設置補助制度について周知PRを図り、更なる設置に向けて調査・研究をする。また、し尿処理手数料の徴収率が低下傾向であるため、その向上のため、徴収の強化を行う。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	汲取り便槽及び浄化槽の転換数の増加を図るため、対象者に対して更なるPR活動等を行い当該制度の利用促進を図る。
②①に基づく取組み結果	補助制度の利用促進のためのお知らせ等を行い、補助制度の利用者は12件となった。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	①汲取り便槽を使用している市民等 ②下水道事業認可区域を除く市域に合併浄化槽を設置しようとする者	意図（対象をどうするのか）	①し尿による水質汚濁の防止及び生活環境の保全 ②家庭から出る生活雑排水の水質汚濁物質の軽減
②事務事業の概要		し尿収集運搬及びし尿処理手数料徴収を行う。また、水質汚濁を防止するため合併浄化槽の設置を補助する。		
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）		長期的には、公共下水道の整備により汲取り世帯及び単独浄化槽世帯の減少が見込まれる。		

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	合併処理浄化槽の転換設置に対して、設置費の一部について補助を行った。（12件）

②成果を表す指標		指標名称	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	し尿収集・運搬率	100	100	100	%	業務取得
	ii	し尿処理手数料徴収率	98	98.2	98.6	%	業務取得
	iii	補助金利用設置合併浄化槽基数	4	18	12	基	業務取得

③事務事業のコスト		令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算（事業費）の主な内訳		令和3年度予算
事業費（千円）		93,333	90,733	金額（千円）	内容	94,325
	国支出金（千円）	2,752	1,480	72,461	し尿収集・運搬等	2,960
	県支出金（千円）	4,046	2,724	7,252	浄化槽設置補助	3,960
	市債その他（千円）	12,402	12,253			
	一般財源（千円）	74,133	74,276			87,405

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	今後の先行きは不透明であり汲取り便槽及び単独浄化槽から合併浄化槽への転換の件数が伸び悩むことが予想される。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	合併浄化槽設置補助事業をより効果的な補助制度とするため、制度の周知等について更なる精査検証を行う。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		令和2年度事業費の状況（単位；千円）					
①令和2年度の計画		計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績			0	当初		0	R1からの繰越
③達成状況				R1⇒R2繰越			
④未完了・非着手の理由				補正			現年分
				流用・充当			
		令和3年度への繰越額（単位；千円）					

令和3年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	柏・白井・鎌ケ谷環境衛生組合に要する経費（し尿処理等）	会計	款	項	目	多額経費
		一般	4	2	3	
政策	快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	クリーン推進課			
施策	環境衛生の充実	担当課室長	中川　聡			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	アクアセンターあじさいの修繕計画について、環境衛生組合及び構成市と調査・協議を行ったうえで作成する。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	アクアセンターあじさいの修繕計画について、環境衛生組合及び構成市との調整・協議を引き続き行っていく。
②①に基づく取組み結果	焼却施設の延命化等の計画との整合性を図る必要があるため、あじさいの修繕計画の調査協議について引き続き協議を継続する必要がある。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	①公共下水道を使用していない者 ②柏・白井・鎌ケ谷環境衛生組合	意図（対象をどうするのか）	し尿及び浄化槽汚泥の適正処理
②事務事業の概要		構成団体（柏市沼南地区・白井市・鎌ケ谷市）の地区内で排出されたし尿、浄化槽汚泥を適正処理するために建設された施設の維持管理等の経費を負担する。		
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）		施設の老朽化による維持管理費の増加が見込まれる。長期的に公共下水道供用開始区域の拡大により処理量の減少が見込まれる。		

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	し尿処理費用に係る負担金を支出した。

②成果を表す指標		指標名称	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	し尿処理率	100	100	100	%	業務取得
	ii						
	iii						

③事務事業のコスト		令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算（事業費）の主な内訳		令和3年度予算
事業費（千円）		211,795	224,153	金額（千円）	内容	187,624
	国支出金（千円）			178,303	し尿処理費分	
	県支出金（千円）			45,850	管理費分	
	市債その他（千円）					
	一般財源（千円）	211,795	224,153			187,624

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	今後も施設の老朽化による維持管理費の増加が見込まれる。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	脱水汚泥焼却炉等、各設備の老朽化が進んでいるため必要な修繕計画を検討していく。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		令和2年度事業費の状況（単位；千円）					
①令和2年度の計画		計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績			0	当初		0	R1からの繰越
				R1⇒R2繰越			
③達成状況				補正			現年分
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		令和3年度への繰越額（単位；千円）					

令和3年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	狂犬病予防等に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	4	1	1	
政策	快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	環境課			
施策	環境衛生の充実	担当課室長	市村　昌子			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	狂犬病予防集合注射の接種率が下がっているため、未接種の犬の飼い主に対し接種を促すための強化を図る。 また、「飼い主のいない猫不妊・去勢補助事業」については、事業開始後7年が経過することから、事業の在り方について獣医師会と協議する必要がある。引き続き、「飼い主のいない猫」の個体数の抑制を図り、保健所巡回指導の強化を図る。
②①に基づく取組み結果	未接種の犬の飼い主に対し接種を促すための督促状を年2回発送した。 市民からの猫に対する問い合わせを解決するため保健所巡回指導を年5回実施した。
③令和3年度に取組む改革・改善内容	千葉県獣医師会から動物病院での注射済票の交付についての提言があった。実施した場合、飼い主の負担軽減となるが契約締結や費用負担等の問題がある。昨年度に調査した県内34市の取り組み状況を検証し実施可能か検討する。 「飼い主のいない猫不妊去勢助成事業」については、事業開始から8年が経過することから、交付決定の期間や頭数等、事業の在り方について検討する。

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内畜犬、飼い主のいない猫	意図（対象をどうするのか）	狂犬病の発生の予防・蔓延を防止及び撲滅する。また飼い主のいない猫の個体数の増加を抑制し、動物愛護法に規定されている「人」と「動物」の共生社会を目指す。
②事務事業の概要		狂犬病による被害を防止するため、犬の登録及び予防注射（集合注射）を実施する。 登録や予防注射済みの所有者に鑑札及び注射済証を交付する。 集合注射が行えなかった場合には、動物病院で予防注射を行った後に、窓口で鑑札及び注射済証の交付を行う。 また、動物愛護の観点から「人」と「動物」との共生社会を目指し、「飼い主のいない猫」による生活環境への影響を最小限に抑えるため、不妊去勢手術を行い、「飼い主のいない猫」の増加抑制を図る。		
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）		狂犬病予防法により、犬の登録及び狂犬病予防注射の接種が義務付けられているほか、ペットの社会的位置づけが変化し、「動物の愛護及び管理に関する法律」が改正され、人と動物が共生できる社会が求められている。これには長い期間での持続的な対策が必要となってくる。		

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	・狂犬病集合注射は中止としたが、未接種犬の飼い主に対する督促を実施した。 ・飼い主のいない猫不妊・去勢助成事業規模を拡大して実施した。

②成果を表す指標		指標名称	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	畜犬登録数に対する予防注射接種率	75.4	74.3	72.7	%	
	ii	飼い主のいない猫死体処理数	305	283	278	頭	
	iii	飼い主のいない猫不妊去勢実数	26	56	48	頭	

③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算（事業費）の主な内訳		令和3年度予算
事業費（千円）	4,094	3,966	金額（千円）	内容	4,687
国支出金（千円）			1,621	会計年度任用職員	
県支出金（千円）	195	155	144	印刷製本費	
市債その他（千円）			513	鑑札等作製委託	
一般財源（千円）	3,899	3,811	3	畜犬登録促進指導委託	4,687
			826	飼い主のいない猫不妊去勢手術助成金	

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	ここ数年の狂犬病予防注射の接種率の伸び悩みを解消する必要がある。 また、「飼い主のいない猫」の人への生活被害が寄せられている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	狂犬病予防法により、市に義務付けられた業務であるため、未接種犬の飼い主への督促を今後も継続していく必要がある。 飼い主のいない猫による糞・尿被害や鳴き声など市民からの苦情が多くなっていることから、猫の個体数の増加を抑制するため、今後も継続していく必要がある。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		令和2年度事業費の状況（単位：千円）					
①令和2年度の計画		計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績			0	当初		0	R1からの繰越
③達成状況				R1⇒R2繰越			
④未完了・非着手の理由				補正			現年分
				流用・充当			
		令和3年度への繰越額（単位：千円）					